

第 70 回愛鳥週間

平成 28 年度 野生生物保護功勞者表彰

受 賞 者 一 覧

1. 公益財団法人日本鳥類保護連盟 総裁賞

都道府県名	氏 名	功績概要
神奈川県	<small>ばば</small> <small>くにとし</small> 馬場 國敏	<ol style="list-style-type: none"> 1. 昭和 48 年に神奈川県川崎市に馬場総合動物病院を開業し、一般の伴侶動物等の診療のみならず、傷病野生鳥獣の救護および治療に尽力した。 2. 平成 10 年に野生動物の救護と救護指導、環境保全の普及活動を目的として野生動物ボランティアセンターを設立した。そこを拠点に、傷病鳥獣や災害等による被災動物の保護およびリハビリテーション活動を展開した。神奈川県との協力関係のもと、傷病野生鳥獣の保護・治療、および野生復帰活動において大きな成果をあげる。 3. 平成 3 年の湾岸戦争によって発生したペルシャ湾油流出事故の際には、環境省とともにチームリーダーとして現地に赴き、大きな被害を受けた海鳥類の救護活動に尽力した。これは、日本人として初めて行われた海外における油汚染鳥の救護活動となる。 4. 海外においては、平成 4 年のスペインでのタンカー事故、平成 5 年のイギリスシェットランド島沖でのタンカー事故、平成 6 年の南アフリカケープタウン沖でのタンカー事故、平成 13 年のフランス、平成 18 年のガラパゴス、平成 20 年の韓国など、様々な油流出事故における被害鳥の救護に従事した。 5. 国内においても、平成 10 年のナホトカ号油流出事故を始め、平成 19 年の対馬沖オイル流出事故時の油汚染鳥の救護活動において中心的な役割を果たした。 6. 平成 7 年の阪神淡路大震災、そして平成 23 年の東日本大震災など、様々な災害時において現地に赴き、被災動物（飼育動物、家畜類、野生動物）の救護活動に尽力した。診療・治療、そして保護管理活動、収容施設の設置協力のほか、飼い主や関係者の相談役としても活動を展開した。 7. 自らの動物病院および野生動物ボランティアセンターにおいて、飼い主が見つからない動物や飼育が困難となってしまった動物を保護し、健康管理とともに、新たな飼い主となるべき里親の依頼も行う。

2.環境大臣賞（6件）

都道府県名	氏名	功績概要
新潟県	ふるかわ ひでお 古川 英夫	<ol style="list-style-type: none"> 新潟県の林業行政に長年携わると共に長岡野鳥の会並びに新潟県野鳥愛護会の会員また役員として 39 年間にわたり市民、県民に対し野鳥保護、森林保護思想の普及啓発に努める一方、里山の鳥類相調査を 35 年間にわたり継続し、里山の保全活動にも尽力してきた。 市民探鳥会をはじめ、市内小・中学校の探鳥会、愛鳥教育の講師を務めるとともに、各種自然体験学習や環境教育の企画・立案など自然保護思想の普及啓発に尽力した。 野鳥調査を継続的に行い、蓄積したデータから里山の鳥類相解明に多大な貢献をした。
静岡県	やまだ なみを 山田 次雄	<ol style="list-style-type: none"> 昭和 40 年に現静岡県志太榛原農林事務所管内の野鳥保護調査会の設立に尽力し、以来 50 年余りにわたり、野鳥の保護活動と生息調査を継続して実施している。 静岡県野鳥愛護協会大井川支部が協力して実施している島田市内の小学校の野鳥観察会に講師として積極的に参加し、野鳥愛護の精神の普及に努めている。また、焼津市、藤枝市などで巣箱作りや巣箱架けの指導などを行っている。 野鳥が生息する現場を意欲的に巡回し、密猟や違法捕獲の抑止にも取り組んでいる。
京都府	やぎ あきら 八木 昭	<ol style="list-style-type: none"> 京都府鳥獣保護員として自然環境の適正な保全管理のため、森林内の巡視等に努めた。 平成 5 年には日本野鳥の会京都支部長として日本鳥類保護連盟による「全国野鳥保護のつどい」を成功させ、同時に出版された記念誌「京都の野鳥」の編集にも携る。 京都府の依頼により、コウノトリに関する勉強会の講師を務め、コウノトリが安心して生息できるよう様々な場面で貢献した。その後、自らが代表となり、「亀岡コウノトリの会」を発足させ、兵庫県豊岡市と連携しながらコウノトリの行動把握に努めている。 昭和 41 年から 48 年間にわたり冠島でのオオミズナギドリの調査に従事し、保護活動に多大な貢献をした。
東京都	とりつ 都立 おがさわらこうとうがっこう 小笠原高等学校	<ol style="list-style-type: none"> 平成 19 年度から総合的な学習の時間において「環境ボランティア」として、タマナ等の在来種植栽やホナガソウ等の移入種除去を継続的に行い、地域の自然環境保全に貢献している。 平成 21 年度から総合的な学習の時間において自然保護活動を実施。グリーンアノールなどの外来種駆除活動を支援しモモタマナ等の在来種植栽や海岸清掃も行っており、活動を充実させている。 平成 22 年度に部活動「自然保護研究会」を設立し、自然保護活動とともに小笠原の自然の特異性や保護の重要性を地域内外に発信している。

鹿児島県	いずみしりつ 出水市立 たかのちゅうがっこう 高尾野中学校	<ol style="list-style-type: none"> 平成 16 年度より総合的な学習の時間にツルに関する学習を設定し、講師を招聘して全校でツルに関する知識を深めている。 平成 8 年度からツルクラブを中心とするツルの羽数調査や生態調査を行っており、平成 25 年度より、愛鳥モデル校の指定を受け、継続的に活動を行っている。 出水市クレインパークや出水・高尾野国設鳥獣保護区管理員に指導を受けながら、羽数調査を行い、出水市教育委員会が行う「ツルガイド検定」に取り組んでいる。
北海道	つるいむら 鶴居村タンチョウ あいごかい 愛護会	<ol style="list-style-type: none"> 給餌場にタンチョウに関する看板を設置し広く愛護の精神を普及するとともに、タンチョウのねぐら付近への立ち入りを防止するための看板を設置し啓発を行っている。 給餌場の草刈りをはじめ木柵の整備、タンチョウのねぐらである河川の中洲の柳の伐採作業等環境整備を行っている。 村内のタンチョウの生息状況等について調査し、保護活動の基礎資料としている。 北海道が実施する「タンチョウ越冬分布調査」並びに村が実施するタンチョウの農業被害対策に協力している。

3. 文部科学大臣賞（2 件）

都道府県名	氏 名	功績概要
富山県	ふなはしそんりつ 舟橋村立 ふなはししょうがっこう 舟橋小学校	<ol style="list-style-type: none"> 総合的な学習の時間に校区を流れる用水・川に生息する生きもの調査を実施している。 平成 26 年に竹鼻用水で絶滅危惧種のトミヨの発見から多様な生きものが棲む竹鼻用水を守る活動を進める。 平成 27 年に「富山県やせいの生きものふれあいモデル校」に指定され、生物多様性の保全を推進する。
山梨県	やまなかそんりつ 山中湖村立 やまなかこちゅうがっこう 山中湖中学校	<ol style="list-style-type: none"> 昭和 42 年より山梨県野鳥愛護愛鳥モデル校指定以来、技術・家庭科等の授業を通して、巣箱作りに取り組み、学校周辺及び村内の諸施設周辺に巣箱かけを行っている。 野鳥が食する実のなる木の植樹も並行して行っており、20 年間で 1,690 本の植樹を行った。 平成元年より、山梨県、山中湖村、公益財団法人堀内洪庵会の協力を得て、「自然愛護教室」「愛鳥のつどい」を毎年実施している。

4. 林野庁長官感謝状（3件）

都道府県	受賞者	功績概要
栃木県	もてぎちょうりつ 茂木町立 なかがわしょうがっこう 中川小学校	<ol style="list-style-type: none"> 平成 14 年度以降 15 年間にわたり、継続的に探鳥会を実施している。探鳥会から課題を設定し、追究を行いその成果を発表している。 学校近くに流れる那珂川の観察を通して、自然環境の保全や野生生物保護に向けての意識の高揚を図っている。 地域ボランティアの指導により棚田での稲作に取り組んでおり、棚田の保存に貢献している。棚田での準絶滅危惧種シュレーゲルアオガエルの観察から野生生物の保護に関する意識が高まっている。 学校林への遊歩道の設置・整備を地域住民・保護者とともにやり、自然観察の場として活用している。
兵庫県	あまがさきしりつ 尼崎市立 せいりょうちゅうがっこう 成良中学校	<ol style="list-style-type: none"> 総合的な学習の時間を中心に各教科と連携し、100 年後を見据えた生物多様性に富む「尼崎 21 世紀の森づくり」の活動を行っている。 地元で自生する広葉樹の苗木を育て、植樹、間伐を行いながら森を育て、巣箱を設置し営巣状態を観察しながら野鳥をはじめとする生物が生息しやすい環境づくりを目指す取り組みを続けている。 委員会活動や課外クラブ活動の取り組みとして、学校の屋上緑化活動でバードピア開発を続けている。 地域の方々を対象にユネスコセミナーや環境フォーラムを開催、参加し、野生生物保護について啓発活動を行っている。
広島県	えたじましりつ 江田島市立 きりくししょうがっこう 切串小学校	<ol style="list-style-type: none"> 平成 17 年から学校林の「古鷹山ピオトープ」の観察活動を行い、そこに生息する絶滅危惧種ベニイトトンボや水草のアカウキクサ、イトトリゲモの保護活動を進めている。 自然環境の調査を通して、課題を多面的・総合的に考え、地域の方々とともに行動したことを地域や後輩たちに発信してきた。 生活科や総合的な学習の時間を中心に学校全体で取り組みを進めている。

5. 公益財団法人日本鳥類保護連盟会長賞（3件）

都道府県名	氏名	功績概要
長野県	にしむら ゆたが 西村 豊	<ol style="list-style-type: none"> 1. 昭和 52 年から野生傷病獣の救護に取り組み、約 39 年間で 300 頭以上を救護した。また、県内外の学校、団体、企業などから講演や自然観察会の講師依頼があり、野生動物保護の普及啓発に努めている。 2. 平成 11 年から長野県野生傷病鳥獣救護ボランティアに登録し、ニホンヤマネなど多数の傷病獣の救護と野生復帰に多大な貢献をした。 3. 地域の中학생や高校生などに救護の方法を教え、後継者の育成を図っている。
鹿児島県	あまみ しりつ 奄美市立 すみようしょうがっこう 住用小学校	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成 18 年度より、総合的な学習の時間で、リュウキュウアユの観察を通し保護活動に対する課題意識をもち、保護活動を主体的に行う取り組みをしている。 2. PTA 等の活動を通して、校区内及び校区の河川等の清掃活動や産卵場所の整地等を行い、地域の保護思想向上を高めている。
神奈川県	よこはましはんしよく 横浜市繁殖 センター	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成 11 年 4 月に開設し、現在は、13 種類 197 点の希少野生動物の保護・繁殖と調査・研究を実施している。 2. 平成 15 年からインドネシア政府と共同で「カンムリシロムク野生復帰事業」を実施し、繁殖個体をインドネシアへ野生復帰活動のため送致している。 3. 平成 27 年 6 月には、日本で初となるミゾゴイの繁殖に成功し、保護事業が広く市民に知られることになった。 4. 毎年夏休みに「科学スクール」や「施設見学会」などで参加者に野生動物の保護繁殖活動を通して環境教育を実施している。

6.環境省自然環境局長賞（6件）

都道府県名	氏名	功績概要
茨城県	しもさと かつひこ 下里 勝彦	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「とりで鳥の会」の発足時から探鳥会を通じて野鳥の保護及び自然環境保護への普及啓蒙に貢献している。 2. 日本野鳥の会茨城県主催の探鳥会をはじめ、地元自治会、小学校の野外活動において、講師など指導的な役割を務め自然へのふれあいを通じて野生生物保護の普及啓蒙に貢献している。 3. 平成5年から利根川河川敷においてワシ・タカ類の秋の渡り調査の実施をはじめ、ガン・カモ・ハクチョウ類及びシギ・チドリ類の調査協力を行っている。
栃木県	なづか ふみお 名塚 史雄	<ol style="list-style-type: none"> 1. 今市の自然を知る会が、日光市木和田島弁天沼湿原の調査を実施した際、特に植物分野の中心的な存在となり、精力的な調査を行った。 2. 横根高原保全・活用協議会が、平成25年度に行った井戸湿原の動植物調査では、鹿沼自然観察会の一員として、意欲的に現地調査を行い、生態系維持回復事業に貢献しており、植物の保護等の活動に尽力している。 3. 鹿沼市文化財保護審議会委員として委嘱され、市内の天然記念物関係の調査・研究に尽力している。
長野県	いで えつお 井出 悦雄	<ol style="list-style-type: none"> 1. 長野県鳥獣保護員、環境省鳥獣保護管理員として34年間、鳥獣保護区の野生生物の保護等に尽力した。 2. 国指定浅間鳥獣保護区での保護に係る巡視、施設管理、鳥獣の生息状況調査、利用者に対する指導等を継続して実施し、鳥獣保護に係る助言や、巡視の際の利用者への積極的な声かけなど、野生生物の保護に対する普及啓蒙に積極的に取り組んでいる。 3. 鳥獣以外にも高山植物保護対策やボランティア活動としての森林の維持造成などにも積極的に取り組んでいる。
東京都	とりつ 都立 こくぶんじこうとうがっこう 国分寺高等学校	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成22年8月から伊豆大島の天然記念物のカラスバトの生態調査及びまとめを毎年実施した。 2. サイエンス・パートナーシップ・プログラムとして、伊豆大島のカラスバトの生態調査及びまとめを行い、「安定同位体比・遺伝子・直接観察で解析する天然記念物カラスバトの生態」をテーマに様々な調査を実施した。 3. 日本鳥学会での発表をはじめ、カラスバトの存在を広く知らしめ、その保護活動の一助となった。

<p>愛媛県</p>	<p>かみじまちょうりつ 上島町立 うおしましやうがっこう 魚島小学校</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1.平成 23 年より、全校児童と魚島中学校生徒全員、教職員全員が保護者、地域の方々と協力して、海岸清掃を継続して行い水質改善の成果が得られた。 2.平成 23 年より愛鳥モデル校の指定を受け、児童全員で巣箱の設置や野鳥観察など野鳥を通して、自然保護の呼び掛けなどを行うなど、自然環境を守る意識は高まっている。 3.平成 26 年から NPO 法人「頼れるふるさとネット」と連携してテーマを設定し 5、6 年生が調査活動を継続的にを行い、調査結果の普及啓発に努め、地域や関係者から高く評価されている。
<p>福島県</p>	<p>にほんやちょう かい 日本野鳥の会 こおりやま し ぶ 郡山支部</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1.公共施設建設のため埋め立てられるため池に生息するオオヨシキリの減少に危機感を抱いたことをきっかけに、平成 6 年よりカッコウの生息調査を行い、市街地の自然の減少に警鐘を鳴らす活動をしている。 2.市内小・中学校の児童、生徒及び一般市民の協力を得てアンケート方式による調査結果を行政機関や協力学校等に配布するとともに、一般市民・小・中学校を対象に「カッコウ報告会」を実施し、自然保護の普及啓発活動を行っている。

7. 公益財団法人日本鳥類保護連盟会長褒状及び会長感謝状

公益財団法人日本鳥類保護連盟会長褒状（18件）

個人（10名）

都道府県名	氏名
群馬県	はらしま さなえ 原島 早苗
群馬県	みかみ きんじ 三上 金次
埼玉県	かやもり たけひと 栢森 武等
石川県	ひらの けんじ 平野 賢次
山梨県	しんどう なおみ 進藤 直美
静岡県	ましも たかむね 真下 享宗
滋賀県	まつぎき そうしろう 松崎 壮志郎
和歌山県	ひろはた ともぞう 広畑 友三
和歌山県	もとや よしみ 元家 好美
大分県	くどう ひろひこ 工藤 裕彦

学校（8校）

都道府県名	学校名
青森県	ふかうらちょうりつ 深浦町立いわさき <small>しょうがっこう</small> 小学校
埼玉県	はんのうしりつひがしがの <small>しょうがっこう</small> 飯能市立東吾野小学校
愛知県	ひがしうらちょうりつふじえ <small>しょうがっこう</small> 東浦町立藤江小学校
奈良県	ごじょうしりつさかあいべ <small>しょうがっこう</small> 五條市立阪合部小学校
島根県	おおだしりつきたさんべ <small>しょうがっこう</small> 大田市立北三瓶小学校
山口県	しゅうなんしりつやしろ <small>しょうがっこう</small> 周南市立八代小学校
福岡県	ぶぜんしりつごういわちゅう <small>がっこう</small> 豊前市立合岩中学校
福岡県	みやわかしりつやまくち <small>しょうがっこう</small> 宮若市立山口小学校

公益財団法人日本鳥類保護連盟会長感謝状（2件）

都道府県名	団体名
岩手県	たきざわ <small>かんきょう</small> 環境パートナー会議 <small>かいぎ</small> プロジェクトチーム 「ホタル <small>たんけんたい</small> 探検隊」
神奈川県	とくていひえいりかつどうほうじんやせいどうぶつ <small>きゅうご</small> かい 特定非営利活動法人野生動物救護の会

8. 環境省自然環境局長感謝状
鳥獣保護管理員等（62件）

都道府県	氏名	都道府県	氏名	都道府県	氏名
北海道	木村 英雄	埼玉県	渡邊 初夫	愛知県	牧 元一
北海道	鈴木 和博	千葉県	鈴木 信敏	愛知県	吉田 修
北海道	中川 正裕	神奈川県	八木 信明	滋賀県	上田 文吾
北海道	田口 重松	神奈川県	浜田 御喜男	大阪府	井上 昇吾
北海道	中嶋 弘美	神奈川県	平本 稔	兵庫県	吹田 修身
北海道	熊田 修二	神奈川県	鹿島 昇	兵庫県	村井 洋介
青森県	高田 敏幸	神奈川県	大館 三郎	兵庫県	川中 忠行
青森県	松浦 勉	新潟県	近藤 敬一	島根県	品川 光広
岩手県	相澤 貞一郎	新潟県	小林 孝行	岡山県	三上 節夫
秋田県	吉田 伸一	新潟県	中山 弘	岡山県	ながお かずみ
山形県	今野 征司	新潟県	渡邊 宣二	岡山県	池田 哲也
山形県	阿曾 建夫	新潟県	本間 忠良	山口県	木村 榮治
福島県	栗田 傳一	新潟県	名古屋 与一	愛媛県	高須賀 徹彰
福島県	齋藤 富雄	富山県	岡部 信保	福岡県	小森 昌明
福島県	本田 常次	富山県	檜物 芳晴	熊本県	立山 比呂志
茨城県	足立 守	富山県	今井 芳正	熊本県	高日 寒二
茨城県	梅原 和彦	富山県	片山 国丸	熊本県	右山 敏博
栃木県	橋本 公夫	石川県	冨田 征志	大分県	森本 一男
群馬県	清水 正一	山梨県	古屋 和雄	大分県	椋野 松男
埼玉県	伊藤 憲司	愛知県	宮田 清一	宮崎県	荒川 岩男
埼玉県	野村 洋治	愛知県	加藤 千幸		